

農林水産省登録
第23784号

ミヤコバンカー[®]

ミヤコカブリダニ剤 + 天敵保護装置「バンカーシート」

天敵を長期に放出！ 薬剤抵抗性ハダニへの対策にも有効です！



ミヤコカブリダニ



適用害虫の範囲及び使用方法

薬剤名: **ミヤコバンカー**

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	使用方法	総使用回数 [※]
果樹類(施設栽培) りんご(露地栽培) 日本なし(露地栽培) おうとう(露地栽培)	ハダニ類	2~5パック/樹	発生直前 ~ 発生初期	放飼	—
野菜類(施設栽培)		50~300パック/10a			
野菜類(露地栽培)		5~60パック/100株			
		50~100パック/10a			
いちご(施設栽培)		2~20パック/100株			
いちご(露地栽培)		50~300パック/10a			
		1~20パック/100株			
花き類・観葉植物(施設栽培)		50~100パック/10a			
		1~20パック/100株			
		1~3パック/100株			

※印は本剤およびミヤコカブリダニを含む農薬の総使用回数を表します。
本内容は2021年1月13日付の登録内容に基づいています。



石原バイオサイエンス株式会社

ミヤコバンカー®の特長



バンカーシート ここがすごい!

天敵パック製剤の効果を最大限発揮!
長期間にわたり、天敵を放出。

①天敵を長期に放出

内部で天敵を保護・生存させ、長期に放出するため、より安定した防除効果が期待できます。

②スケジュール放飼が可能

放出期間が長いので、害虫発生前に計画的に放飼可能です。

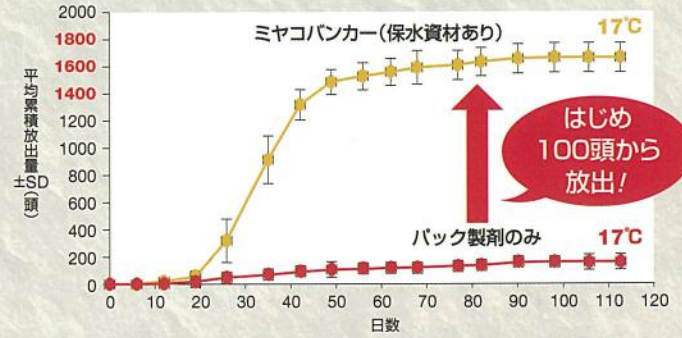
③効果が環境に影響されにくい

本体は防水素材のため、水や*農薬に強く外部の気温や湿度変化の影響も緩和します。

※天敵に影響がある薬剤は併用できません。天敵に対する各種薬剤の影響につきましては弊社ホームページよりご確認ください。

■バンカーシートからのミヤコカブリダニの放出量

(パック製剤のみとの比較、温度17℃、湿度65~75%RH)



★ミヤコカブリダニは多湿な環境を好みます。シート内に保水資材を投入することで、天敵の生存に適した湿度80%以上の好環境をシート内に作り出し、外へ放出します。

ミヤコバンカー®の構成物・組み立て方



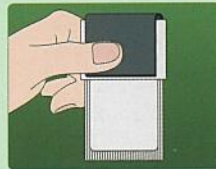
■有効成分

・ミヤコカブリダニ
100頭/パック

■その他の成分

・バンカーシート ・フェルト(産卵基質) ・保水資材

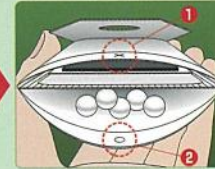
規格は100個入り、50個入りの2種類から選べます



①フェルトでカブリダニパックを挟みます。



②バンカーシートの下から挿入した後、保水資材を5個入れます。



③上記のようにいれてください。

①×印のある折込み部分を先に折込み、
②○印のある折込みはあとから折込んでください。

作物別設置例

①イチゴ(施設):
竹串で立てる



②ナシ(露地):
紐で樹幹に吊るす



③ブドウ(施設):
フック部分で吊るす



バンカーシート®は農研機構・中央農研を中心とした農食事業(実用開発ステージ26070C)で実用化技術を確立しました。

バンカーシートの詳しい説明はこちらからご覧いただけます。

石原バイオサイエンス株式会社~生物農薬特設ページ~
<https://ibj.iskweb.co.jp/biopesticide/>

